

移行支援シート

中学校→高等学校・特別支援学校高等部

このシートは、お子さんに必要な支援内容・方法について進学先の学校に伝える際に活用するものです。シートの記入や進学先の学校への引継に際しては、中学校の先生等、関係諸機関に協力していただくことが大切です。

名前

移行支援シートをご記入くださるみなさまへ

「移行支援シート」は、お子さん一人一人が豊かで楽しい学校生活を送ることができるよう、中学校・中学部、必要に応じてその他専門機関と保護者が協力して作成し、お子さんが進学する高等学校、特別支援学校高等部に引き継ぐものです。

高等学校、高等部ではお子さん一人一人のこれまでの成長発達の歩みを大切に、入学後も充実した学校生活を送れるようにしたいと思います。入学後の教育的支援を考えるため、お子さんの様子や必要な支援の手だて・配慮など、「移行支援シート」をもとに、保護者と協力して適切な支援や環境を整えていきます。

『移行支援シート』が伝えたい内容

- 1 お子さんのよいところ、伸びたところ、できること、得意なこと、好きなこと。
- 2 お子さんに合わせて工夫した指導内容や教材・教具、言葉かけや補助の仕方など、お子さんが意欲的に学習に取り組むことのできる指導法の工夫、落ち着いた学習に取り組むことのできる環境設定の工夫に参考になること。
- 3 お子さんがどうしても苦手なことや環境、対人関係での配慮、情緒が不安定になったときの対応の仕方など、学校生活において配慮や支援が必要なこと。
- 4 お子さんのよりよい成長発達のために、今後も引き継いで欲しいと思う内容。

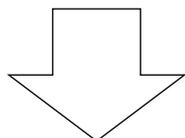
記入に当たって

- 1 この様式のすべての欄を記入しようとなさなくても結構です。ここだけは、というポイントがあれば教えてください。
- 2 また、この様式だけでは不十分と思われる場合には、必要に応じて関係書類等(教材等の写真など)を添付していただいても構いません。お子さんが楽しい学校生活を送ることができるよう必要に応じて、伝えたい内容を加えてください。
- 3 お子さんの生き生きとした姿が学校に伝わるようご記入ください。

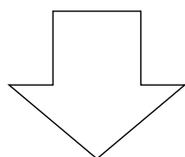
移行支援シートの作成・活用の流れ

1 在籍中学校が必要事項を記入した後、移行支援シートを生徒の保護者に渡します。

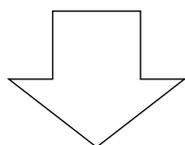
保護者と在籍中学校の先生と一緒に移行支援シート①の記入を開始します。(保護者持参)



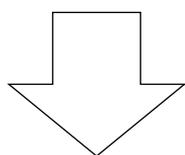
2 保護者が記入内容を確認した後、保護者が必要だと思われる機関に持参し、それぞれの専門機関に記入してもらいます(移行支援シート③)。シート③をコピーしてそれぞれに渡します。(保護者持参)



3 お子さんの意思で移行支援シート②(生徒用)を記入します。(保護者持参)



4 保護者が確認の上、在籍中学校へ2月末をめぐりに提出します。



5 合格発表後、保護者または学校から入学予定校へ提出します。(窓口は副校長先生)

- ※ 作成・活用の過程を通して、個人情報の保護管理を徹底します。
- ※ 転校・卒業時にはこのシートは保護者にお返しします。

ふりがな 本人の名前	男・女	記入者(所属・氏名)
生年月日	年 月 日	

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と情報共有し、支援を進めることに同意します。

平成 年 月 日

名前(保護者)

印

移行支援シート①

好き・得意なこと、得意な教科		嫌い・苦手なこと、苦手な教科	
項目	中学校等での様子		配慮したこと・有効だったこと
健康・からだ・生活	①健康面		
	②視力・聴力		
	③移動・運動・姿勢		
	④食事		
	⑤生活面		
	⑥感覚		
	⑦その他		
行動・社会性・学習	⑧感情のコントロール		
	⑨こだわり		
	⑩指示理解		
	⑪注意持続		
	⑫多動衝動		
	⑬集団参加		
	⑭困った時の意思表示		
	⑮対人関係		
	⑯日常会話		
	⑰意思伝達		
	⑱部活動		
	⑲学習		
	⑳その他		

※支援を要する項目にチェックを入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

高等学校・高等部に伝えたい内容

中学校で大事に取り組んできた内容や予想される困難な場面等の配慮事項（中学校から）

家庭での様子や進学後の学校生活に関する要望・期待など（保護者から）

関係機関（医療・教育・保健・福祉、その他）

移行支援シート②(生徒用)

名前

高等学校、特別支援学校高等部でがんばりたいこと、不安なこと、好きなこと、得意なこと、願いなどがあれば、自由に書いてください。全部書けなくてもかまいません。あなたが伝えたいことを書きましょう。

がんばりたいこと・学びたいこと

得意なこと・好きなこと

不安なこと

進学先にお願いしたいこと

移行支援シート③(関係機関用)

名前

<関係機関より> 関係機関での様子、学校での配慮事項など、お気づきの点をご自由にお書きください。

機関名	記入者
説明事項	平成 年 月 日作成
機関名	記入者
説明事項	平成 年 月 日作成
機関名	記入者
説明事項	平成 年 月 日作成
機関名	記入者
説明事項	平成 年 月 日作成

記入のポイント

公立・私立共通

ふりがな 本人の名前	男・女	記入者(所属・氏名)
生年月日	年 月 日	

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と情報共有し、支援を進めることに同意します。

平成 年 月 日 名前(保護者) 印

移行支援シート① 進学先に提出

好き・得意なこと、得意な教科		嫌い・苦手なこと、苦手な教科		
学校生活の様子にあわせて、本人や保護者の聞き取りによって記入しましょう。				
項目	中学校での様子	配慮したこと・有効だったこと		
健康・からだ・生活	①健康面	栄養・生活リズムに関すること、発作の有無など		
	②視力・聴力	視力、色覚、聴力、補聴器の使用など、視力や聴力に関すること		
	③移動・運動・姿勢	歩行の状況(階段昇降、坂道など)、走る、登る、手指の巧緻性(はさみ、折り紙、箸等)の使い方、姿勢の保持		
	④食事	好き嫌い、食物アレルギー、食事上の配慮など	記入の観点例	
	⑤生活面	睡眠の様子(時間、様子等)や1日の生活の流れ等		
	⑥感覚	<input type="checkbox"/> 視覚・聴覚・触覚・臭覚などに関する感覚過敏など	中学校の先生がチェックする欄 このような観点を参考にして有効な支援等を記入しましょう。	
	⑦その他			
行動・社会性・学習	⑧感情のコントロール	パニックの有無など		
	⑨こだわり	こだわりの有無など		
	⑩指示理解	指示理解・遂行		
	⑪注意持続	注意の持続、不注意など		
	⑫多動衝動	<input type="checkbox"/> 多動性・衝動性の有無など		
	⑬集団参加	学校行事等集団行動への参加、休み時間の過ごし方、ルール理解など		
	⑭困った時の意思表示	困ったときの意思表示の有無、方法など		
	⑮対人関係	教師や友だちとの関わりなど		
	⑯日常会話	会話の成立など		
	⑰意思伝達	言葉、身振り、サイン、絵・文字カードの使用など		
	⑱部活動	部活動の様子		
	⑲学習	読む、書く、計算する、推論するなど		
	⑳その他			

※支援を要する項目にチェックを入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

記入のポイント

高等学校・高等部に伝えたい内容

中学校で大事に取り組んできた内容や予想される困難な場面等の配慮事項（中学校から）

中学校の先生が書く欄

これまでに中学校で行われてきた効果的な支援、または困難な場面等、配慮を要する事柄について具体的エピソードを記入しましょう。

家庭での様子や進学後の学校生活に関する要望・期待など（保護者から）

保護者が書く欄

家庭での様子、エピソード、学校生活での保護者の願いを記入しましょう。

関係機関（医療・教育・保健・福祉、その他）

保護者が書く欄

- ・お子さんにかかわりのある関係機関（医療、通級指導教室、放課後
デイサービスや担当者について
- ・診断名（診断を受けた機関・医師名）
- ・服薬の有無（薬名、服薬の仕方）
- ・検査結果（検査を受けた年月日、検査者、結果）

等をここに記入しておきましょう。

具体的記入例

公立・私立共通

ふりがな 本人の名前	男・女	記入者(所属・氏名)
生年月日	年 月 日	〇〇中学校 〇〇 〇〇

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と情報共有し、支援を進めることに同意します。

平成 年 月 日 名前(保護者) 印

移行支援シート① 進学先に提出

好き・得意なこと、得意な教科		嫌い・苦手なこと、苦手な教科		
・社会、その中でも地理が得意		・体育、国語、美術は苦手 ・整理整頓が苦手		
項目	中学校等での様子	配慮したこと・有効だったこと		
健康・からだ・生活	①健康面	⑨ 時間変更、予定変更などが受け入れにくく、気持ちを切り替えることが難しい。	⑨ 変更点や予定については事前に知らせて理解をさせてから、全体に説明したり、メモやカードを渡したり、板書等の工夫で理解しやすくした。	
	②視力・聴力			
	③移動・運動・姿勢			
	④食事			
	⑤生活面			
	⑥感覚			
	⑦その他			
行動・社会性・学習	⑧感情のコントロール	⑬ ルールのあるゲームや集団行動が苦手で、一人で読書をしたりして過ごすことが多い。	⑬ 学校、学年行事等では、目的やスケジュールの流れを個別に確認し、自分の役割をはっきりさせて、終了後は必ず評価した。	
	⑨こだわり ○			
	⑩指示理解			
	⑪注意持続	⑮ ⑯ 場の雰囲気を読んだり、相手の気持ちを考えることが難しく、感じたまま、思ったまま発言してしまうことがあり、トラブルになることがある。	⑮ ⑯ 地域の通級指導教室に通級し、ソーシャルスキルトレーニングを実施した。	
	⑫多動衝動			
	⑬集団参加 ○			
	⑭困った時の意思表示	⑰ 地名や人名、歴史上の年号等はよく覚えられるが、筋道立てて考えたり、文章の内容を要約したり、読解したりすることは難しい。	⑰ 通級指導教室で、SSTと合わせて、文章読解等、個別に学習をした。	
	⑮対人関係 ○			
	⑯日常会話 ○			
	⑰意思伝達	⑰ 地名や人名、歴史上の年号等はよく覚えられるが、筋道立てて考えたり、文章の内容を要約したり、読解したりすることは難しい。	⑰ 通級指導教室で、SSTと合わせて、文章読解等、個別に学習をした。	
	⑱部活動			
	⑲学習 ○			
	⑳その他			

※支援を要する項目にチェックを入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

具体的記入例

高等学校・高等部に伝えたい内容

中学校で大事に取り組んできた内容や予想される困難な場面等の配慮事項（中学校から）

- ・担任をはじめ、教科担任が個別にコミュニケーションを取るように心がけ、そこに周りの生徒たちも集まって一緒に話の輪が広がるように日頃から心がけた。
- ・本生徒の言動等でトラブルが起こった際は、クラス全体のこととして本生徒への理解を促すと共に、本生徒へは個別に筋道を振り返ってどうすべきであったかを確認した。
- ・通級指導教室との連携を常にとり、通級時には本生徒の学校でのがんばりを評価しつつ、ソーシャルスキルトレーニングや特性に応じた指導、支援を進めてきた。

家庭での様子や進学後の学校生活に関する要望・期待など（保護者から）

- ・家では好きなパソコンや読書をして過ごしていることが多い。
- ・本人の特性や、得意なこと、苦手なことを考えた際に、どんな職業に就けるだろうか、どんな進路選択があるだろうかと心配をしている。
- ・学校の様子等、連絡を担当や通級担当の先生等と常にとるようにしている。
- ・高等学校へ入学後は通級指導教室のような個別の支援を受けることができる場があればよいと思う。

関係機関（医療・教育・保健・福祉、その他）

- ・A中学校通級指導教室（週1回○曜日放課後 H20.4～B小学校通級指導教室）
- ・C地域支援センター巡回教育相談（H.22.6初回相談～継続）
- ・WISCIV（H24.9.15）
- ・アスペルガー症候群 ○○病院○○Dr診断（H24.9）

記入のポイントと具体的記入例

移行支援シート②(生徒用) 進学先に提出

名前

高等学校、特別支援学校高等部でがんばりたいこと、不安なこと、好きなこと、得意なこと、願いなどがあれば、自由に書いてください。全部書けなくてもかまいません。あなたが伝えたい事柄を書きましょう。

がんばりたいこと・学びたいこと

高等学校、高等部で頑張りたいこと、学びたいことなどを書きましょう。

勉強を頑張りたい。整理整頓ができるようになりたい。

得意なこと・好きなこと

将来の夢や今後進学してやってみたいこと、学校に希望することなどを 書きましょう。

将来は、得意なパソコンを使った仕事に就きたいと思っている。

不安なこと

高校生活・高等部での生活や学習面、友だちのことなどで心配なこと、不安なこと、知っておいてほしいことなどを書きましょう。

僕は整理整頓が苦手である。物をなくしたり、どこかに忘れてしまうことがよくあるので心配だ。

高等学校は単位がとれないと進級できないから、心配している。

進学先をお願いしたいこと

自分の性格や特性等で、学校に知っておいてほしいことやお願いしたいことなどを書きましょう。

予定が変わったり、行事があるときは、あらかじめ分かっていると、混乱しないと思うので、

事前に教えてほしいです。困った時に相談できる所があれば嬉しい。

記入のポイントと具体的記入例

移行支援シート③(関係機関用)

進学先に提出

名前

<関係機関より> 関係機関での様子、学校での配慮事項など、お気づきの点をご自由にお書きください。

機関名 〇〇中学校通級指導教室	記入者 〇〇 〇〇
説明事項 平成25年1月19日作成 <p>・毎週水曜日放課後に通級している。通級指導は小学校の5年生の時から受けており、中学校での通級についても抵抗なく進める事ができた。小学校からの引継ぎを移行支援計画を基に行い、中学校でもソーシャルスキルトレーニングを中心に、本生徒の課題であるコミュニケーション能力や社会性の向上を目指してきた。今では人とのやりとりができるようになり、気持ちのコントロールや場面にあった行動がとれるようになってきたが、まだまだ対人関係の構築は難しい。高校進学後も配慮や支援が継続して必要であると考え。</p>	
機関名 〇〇地域支援センター	記入者 〇〇 〇〇
説明事項 平成25年1月12日作成 <p>本生徒が小学校〇年生の時にB小学校の相談からつながっている。知的には高く、全体的な学習は定着しているが、当初は対人関係をつくるのが難しく、場にあった行動がとれなかったり、悪気もなく相手の気持ちを考えない言動があったりした。B小学校や通級指導教室とも連携をとりながら、今は保護者支援を中心に行っている。高等学校では通級指導を受けることはできないと思うので、できる限りの支援をセンターでも継続していきたい。</p>	
説明事項	<p>※医療機関、事業所、福祉事務所、療育機関、通級指導教室等で初回診察、相談の年月日、その後の相談経過、諸検査、服薬等本人に係る情報を書いてください。</p> <p>※医療機関に依頼される場合は、窓口にお尋ねください。</p> <p>※関係機関についてはあらかじめコピーした物をそれぞれに渡して、後で、貼り付けるとよいでしょう。</p>